



社団法人 企業メセナ協議会

100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1

有楽町マリオン13階

Tel.03-3213-3397 Fax.03-3215-6222

www.mecenaf.or.jp



2003 - No. 01

2003年1月31日

メセナ・シンポジウム
「文化で元気になろう！関西から」
～文化で地域・経済の活性化をめざす～

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区、会長:福原義春)は、2003年2月17日(月)に、メセナ・シンポジウム「文化で元気になろう！関西から」を開催します。

このシンポジウムは、企業による芸術文化支援(メセナ)活動への関心を高めるべく、企業や一般の方々を対象に行うもので、文化による地域・経済の活性化を中心テーマとして実施します。長引く不況のなかで文化が社会にもたらす価値に注目し、メセナ活動の意義を考えていきます。当日は、地元大阪や関西を中心に積極的にメセナ活動に取り組む企業の方や研究者をパネリストに迎え、アートの力が地域・経済の活性化やまちづくりにいかに結びつくかについて、実践をふまえた討論を行います。また冒頭では、「メセナ大賞 2002」(次ページ参照)で「メセナ大賞」を受賞の、朝日放送株式会社の「ザ・シンフォニーホール」の運営と事業活動について、20年間にわたり在阪オーケストラの活動拠点として音楽界に多大な影響を与えてきた軌跡を、同ホール事業局長より紹介します。

当協議会では、このシンポジウムをとおして、関西地区においてメセナへの注目が高まり、メセナ活動が今後さらに活発になっていくことを期待しています。

【開催概要】

名称	メセナ・シンポジウム「文化で元気になろう！関西から」
日時	2003年2月17日(月) 14:00～18:00 14:00～14:45 「メセナ大賞2002」大賞受賞記念講演 14:45～16:30 パネル・ディスカッション「文化で地域・経済を元気にする」 16:30～18:00 交流会
会場	大日本印刷・堂島アクシスビル 9階会議室 大阪市北区堂島浜2-2-28 TEL:06-6347-8780(DDD ギャラリー)
主催	社団法人企業メセナ協議会
参加費	無料 事前の申し込みが必要。定員になり次第締め切ります
申し込み	(社)企業メセナ協議会 メセナ・シンポジウム大阪係宛 所定の申込用紙にてFAXか、Eメールで申し込み
締め切り	2月10日(月)
参加問い合わせ	(社)企業メセナ協議会 TEL:03-3213-3397/FAX:03-3215-6222

メセナ・シンポジウム 「文化で元気になろう！関西から」 プログラム

14:00～14:45 メセナ大 2002 大賞受賞記念講演「ザ・シンフォニーホールの20年」
鈴木 貞治(朝日放送シンフォニーホール事業局長)

14:45～16:30 パネル・ディスカッション「文化で地域・経済を元気にする」
パネリスト： 中川 幾郎(帝塚山大学教授)
林 利治(林庄社長・「船場夢舞台」代表)
弘本 由香里(大阪ガスエネルギー文化研究所)
松本 耕司(松下電器産業コーポレートコミュニケーション本部)
モデレーター： 加藤 恒夫(大日本印刷 ICC 本部長、メセナ協議会大賞部会長)

16:30～18:00 交流会

「メセナ大賞」とは

「メセナ大賞」は、企業による芸術文化支援(メセナ)活動の充実と、メセナへの関心を高めることを目的として1991年に創設。毎年、全国から自薦・他薦で案件を公募し、外部の専門家からなる審査委員会によって、優れたメセナ活動を実施した企業や企業財団を顕彰しています。

「メセナ大賞 2002」メセナ大賞：朝日放送株式会社「ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動」

ザ・シンフォニーホールは、1982年に朝日放送の創立30周年記念事業として、大阪北区の本社隣りに建設。パイプオルガンを擁した1,704席のホールの誕生は、コンサート専用ホールの先駆けとして、日本の音楽界に波紋をもたらしました。

開設当初から「地元で愛されるホール」をめざし、関西フィルの定期演奏会の会場として用いられたのをはじめ、大阪フィルも主催公演を数多く開催。後に、大阪センチュリーや大阪シンフォニカーも定期演奏会をおこなうなど、地元オーケストラの活動拠点として大きな役割を果たしてきました。自主事業でも関西の演奏団体を起用しており、故・朝比奈隆氏が指揮する大阪フィルには85年から年数回の公演を依頼し、シンフォニーホールの性格を特徴づけるシリーズとして定着。99年からは、小中学生や高校生を対象とした芸術鑑賞会を行うなど、子どもや学生の見学も受け入れています。20年にわたる音楽界への貢献が高く評価され、「メセナ大賞 2002」にて大賞の受賞となりました。

社団法人 企業メセナ協議会

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990年2月に発足した公益法人。主たる事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成を行っている。会長:福原義春。正会員159社、準会員42団体。(2002年12月4日現在)

鈴木 貞治(すずき・ていじ)

1971年朝日放送入社。テレビ営業局、東京支社、ラジオ局制作部勤務を経て、82年シンフォニーホール事業局に配属。ザ・シンフォニーホールの開設以来、内外の音楽家を招聘し数々の公演を手がけるとともに、鑑賞者開発などホール運営全般に携わり、2001年同局長に就任、現在に至る。

中川 幾郎(なかがわ・いくろう)

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。大阪大学博士(国際公共政策)。2001年より帝塚山大学法政策学部教授。日本NPO学会監事、文化経済学会理事・兼関西支部長、日本コミュニティ政策学会理事、大阪府文化スタッフ、兵庫県まちづくりアドバイザー等を務める。主な著書に、「文化政策を学ぶ人のために」(共著・世界思想社)、「アーツマネジメント概論」(共著・水曜社)等。

林 利治(はやし・としはる)

株式会社林庄代表取締役。2000年「船場賑わいの会」を立ち上げ、生まれ育った船場で数々のイベントを手がけ、楽しいまちづくりを目指す。昨年3月には「SEMBA博2002」を開催。また、大阪久宝寺町卸連盟の協同組合設立40周年事業実行委員長として、船場久宝寺町再生プロジェクト会議(略称SPA)を提唱した。現在、街の活性化と若手アーティストの育成を目的とした交流の場、「船場夢舞台」を準備中。

弘本 由香里(ひろもと・ゆかり)

筑波大学芸術専門学群卒業。住宅建築専門誌の編集などを経て、1992年から大阪ガスエネルギー・文化研究所客員研究員。生活者の視点、文化の視点で、これからの社会のあり方について研究。98年から立命館大学政策科学部非常勤講師(地域文化政策)や大阪市立住まい情報センター総括企画員も兼務。地域のまちづくりやNPOの運営にも携わる。

松本 耕司(まつもと・こうじ)

1969年松下電器産業株式会社入社。主に人事関連の部署・役職を歴任。2001年にコーポレートコミュニケーション本部社会文化グループマネージャーに就任、現在に至る。(財)奈良県社会福祉後援会理事、大阪市立こども文化センター運営委員会委員、(社福)大阪府肢体不自由者協会理事、(社)関西経済同友会地域主権・NPO委員会副委員長等を務める。

加藤 恒夫(かとう・つねお)

1979年大日本印刷株式会社入社。包装事業部、本社労務部、広報室勤務を経て、91年ICC本部銀座センター長。92年広報室副室長、94年ICC本部長、同年より企業メセナ協議会幹事。2000年より協議会大賞部会長を務める。

本件に関するお問合せ先

社団法人 企業メセナ協議会 広報担当:渡辺、シンポジウム担当:荻原
Tel. 03-3213-3397 (セミナー当日は070-5464-2858 渡辺) Fax. 03-3215-6222
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 13階
E-mail: mecenat@mecenat.or.jp URL: <http://www.mecenat.or.jp/>